

iFreeNEXT ATMX+

運用報告書（全体版） 第4期

（決算日 2025年3月24日）
（作成対象期間 2024年3月26日～2025年3月24日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型		
信託期間	無期限（設定日：2021年3月24日）		
運用方針	投資成果をFactSet ATMX+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド ファン ド	ATMX+インデックス・マザー ファンドの受益証券	
	A T M X + インデックス・ マザーファンド	イ. 香港の株式（D R（預託証券）を含みます。） ロ. 中国（香港を含みます。） の株価指数に連動する E T F（上場投資信託証券）および E T N（上場投資証券） ハ. 中国（香港を含みます。） の株価指数先物取引 ニ. FactSet ATMX+指数（配当込み）の2倍の値動きを享受する債券（円建）	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの 株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの 株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、香港の株式に投資し、FactSet ATMX+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動した投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 中 騰 落 率	(ベンチマーク)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末(2022年 3 月23日)	6,773	0	△32.3	6,892	△31.1	97.6	2.3	794
2 期末(2023年 3 月23日)	5,616	0	△17.1	5,770	△16.3	97.7	1.8	922
3 期末(2024年 3 月25日)	6,112	0	8.8	6,368	10.4	97.6	2.2	900
4 期末(2025年 3 月24日)	9,899	0	62.0	10,492	64.7	94.9	4.7	1,846

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、円ベース) は、FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

FactSetは、FactSet ATMX+指数の正確性および、または完全性を保証するものではありません。また、その中に含まれるデータおよびインデックス使用許諾者は、いかなる誤り、欠落または中断について責任を負うものではありません。FactSetは、インデックスの使用許諾者、当ファンドの所有者、または当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの使用に起因する他の人物または組織によって得られる結果について、明示的または黙示的に保証されるものではありません。FactSetは、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの商品性、特定の目的または使用への適合性について、一切の保証を明示的に否認します。これに限定されず、FactSetは、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、特別損害、懲罰的損害、間接的損害または派生的損害（逸失利益を含む）に対する責任を一切負うものではありません。

FACTSET DOES NOT GUARANTEE THE ACCURACY AND/OR THE COMPLETENESS OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN AND LICENSOR SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY ERRORS, OMISSIONS, OR INTERRUPTIONS THEREIN. FACTSET MAKES NO WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, AS TO RESULTS TO BE OBTAINED BY LICENSEE, OWNERS OF THE PRODUCT, OR ANY OTHER PERSON OR ENTITY FROM THE USE OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. FACTSET MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE WITH RESPECT TO THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING, IN NO EVENT SHALL FACTSET HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークはFactSet ATMX+指数（税引後配当込み、円ベース）です。

■基準価額・騰落率

期 首：6,112円

期 末：9,899円（分配金0円）

騰落率：62.0%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

主として香港の株式に投資し、ベンチマークへの連動をめざした結果、中国テクノロジー株が上昇し、香港ドル円相場はほぼ横ばいとなったことを受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首) 2024年 3 月25日	円 6,112	% －	6,368	% －	% 97.6	% 2.2
3 月末	6,172	1.0	6,433	1.0	97.2	2.2
4 月末	6,800	11.3	7,098	11.4	95.4	2.2
5 月末	6,739	10.3	7,041	10.6	96.8	2.3
6 月末	6,820	11.6	7,137	12.1	97.1	2.2
7 月末	6,279	2.7	6,581	3.3	97.7	2.3
8 月末	5,962	△ 2.5	6,254	△ 1.8	96.5	2.3
9 月末	7,371	20.6	7,746	21.6	97.1	2.4
10月末	7,940	29.9	8,360	31.3	97.1	2.6
11月末	7,320	19.8	7,716	21.2	97.0	2.8
12月末	8,359	36.8	8,830	38.6	97.3	2.7
2025年 1 月末	8,495	39.0	8,980	41.0	96.7	2.9
2 月末	10,273	68.1	10,902	71.2	90.8	8.9
(期末) 2025年 3 月24日	9,899	62.0	10,492	64.7	94.9	4.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.3.26～2025.3.24)

■中国テクノロジー株式市況

中国テクノロジー株式市況は上昇しました。

中国テクノロジー株式市況は、当作成期首より横ばいで推移しましたが、2024年5月に政府が発表した株価下支え策や建築未完成物件の在庫消化および買替えを促進する政策による不動産市場の回復期待などを背景に、上昇しました。その後は、政策の出尽くし感や、欧米との貿易摩擦の激化等が懸念材料となり反落した後、横ばいで推移しました。9月下旬以降は、中国政府による一連の景気刺激策や株高政策の発表により、投資家のリスク選好が向上し大幅高となりましたが、不透明な財政支出の規模などに対する警戒感が徐々に高まり、下落しました。10月中旬はオランダの大手半導体製造装置企業の業績見通し悪化などを受けて半導体株が調整し、下旬は中国全人代常務委員会や米国大統領選挙などの重要イベントを控えてリスク回避姿勢が高まったことなどを背景に下落しました。11月は、米国大統領選挙においてトランプ前大統領が勝利し通商政策を巡る不透明感が高まったことや、中国が保守的な財政政策を発表したことなどから下落しました。12月に入ると、中央政治局会議の内容が好感されて景気刺激策への期待が高まり、上昇しました。2025年1月上旬は、トランプ米国大統領の就任演説を控えてリスク回避の売りが先行したことや、米国政府がAI（人工知能）向け半導体の輸出規制を強化する計画を打ち出したことなどを背景に下落しましたが、中旬以降は、中国当局による消費財買替政策の強化が目目されたこと、また台湾でAI向けや中国の需要回復を背景に半導体企業の決算および輸出受注が好感されたことなどから上昇しました。2月には、中国の大手企業が相次いでディープシークとの連携を発表したことや、中国向けiPhoneのAI開発でアリババがアップルと提携するとの報道から、AIの活用に対し期待が高まり、ハイテク関連銘柄が上昇しました。

■為替相場

香港ドル円相場はほぼ横ばいとなりました。

香港ドルは米ドルとの通貨レートを一定に保つペッグ制度をとっており、基本的に米ドル円と同様の推移となっております。香港ドル円相場は、当作成期首より、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調は継続しました。10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安が大きく進行しました。11月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安基調となりましたが、月半ばになると、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなど

から、円安が進行しました。2025年1月には、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月以降も、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したことなどから、円高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「A T M X +インデックス・マザーファンド」を通じ、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■A T M X +インデックス・マザーファンド

主として、香港の株式（D R（預託証券）を含みます。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行います。また、効率性の観点から連動債券（FactSet ATMX+指数（配当込み）の2倍の値動きを享受する債券（円建））、E T F（上場投資信託証券）、E T N（上場投資証券）、株価指数先物にも投資を行うことがあります。

ポートフォリオについて

(2024.3.26~2025.3.24)

■当ファンド

「A T M X +インデックス・マザーファンド」を通じて運用を行いました。

■A T M X +インデックス・マザーファンド

主として、香港の株式に投資し、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。
ポートフォリオ構築にあたっては、ベンチマーク採用銘柄に投資を行いました。また、効率性の観点から株価指数先物取引を利用し、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

*マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

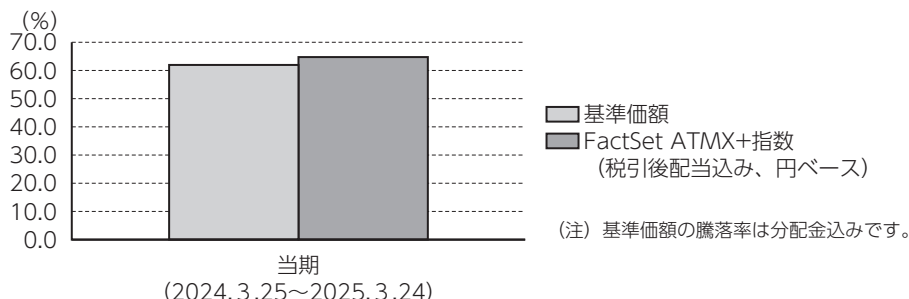
組入ファンド	ベンチマーク
A T M X +インデックス・マザーファンド	FactSet ATMX+指数（税引後配当込み、円ベース）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は64.7%、当ファンドの基準価額の騰落率は62.0%となりました。株式の売買時に発生する印紙税や売買手数料・保管費用等のコスト負担、運用管理费用などがマイナス要因となりました。

なお、組み入れている株式ポートフォリオとベンチマークとの騰落率の差異、株価指数先物とベンチマークとの騰落率の差異も、かい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



*ベンチマークはFactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、円ベース) です。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2024年3月26日 ～2025年3月24日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,285	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ATMX+インデックス・マザーファンド」を通じ、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■ATMX+インデックス・マザーファンド

主として、香港の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行います。また、効率性の観点から連動債券（FactSet ATMX+指数（配当込み）の2倍の値動きを享受する債券（円建））、ETF（上場投資信託証券）、ETN（上場投資証券）、株価指数先物にも投資を行うことがあります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.3.26~2025.3.24)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	58円	0.779%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,435円です。
(投 信 会 社)	(30)	(0.406)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.351)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	8	0.108	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(7)	(0.099)	
(先物・オプション)	(1)	(0.010)	
有価証券取引税	14	0.193	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(14)	(0.193)	
そ の 他 費 用	9	0.118	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.106)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	89	1.198	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

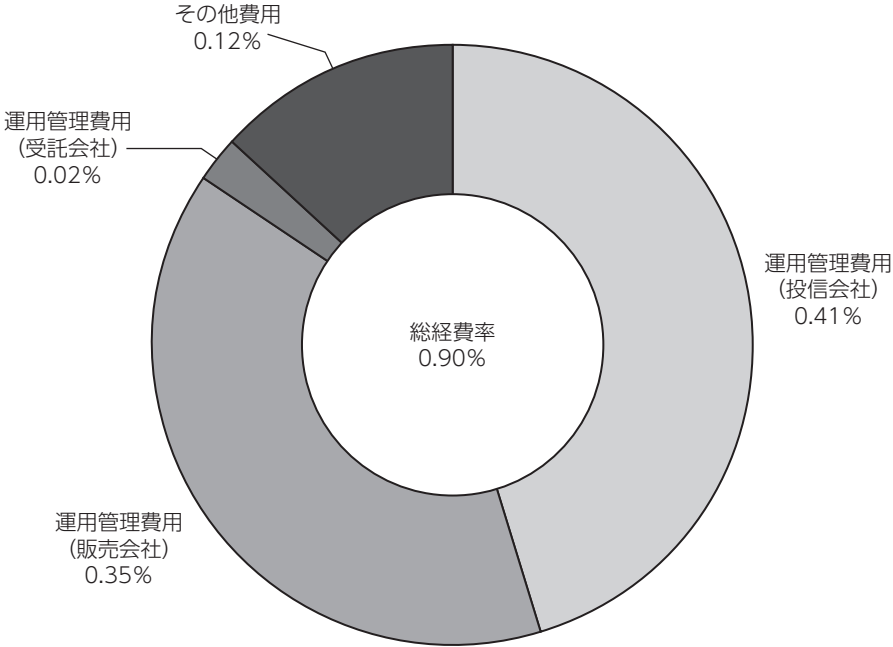
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.90%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月26日から2025年3月24日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ATMX+インデックス・マザーファンド	966,400	919,194	598,492	466,759

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年3月26日から2025年3月24日まで)

項 目	当 期
	ATMX+インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,817,661千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	972,646千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.86

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
A TMX+インデックス・マザーファンド	1,438,617	1,806,526	1,845,908

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月24日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
ATMX+インデックス・マザーファンド	1,845,908	96.2
コール・ローン等、その他	73,564	3.8
投資信託財産総額	1,919,472	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月24日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝149.80円、1香港ドル＝19.27円です。

(注3) ATMX+インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (1,782,505千円) の投資信託財産総額 (1,851,905千円) に対する比率は、96.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,919,472,628円
コール・ローン等	73,564,283
ATMX+インデックス・マザーファンド(評価額)	1,845,908,345
(B) 負債	73,192,868
未払解約金	68,843,649
未払信託報酬	4,303,840
その他未払費用	45,379
(C) 純資産総額(A－B)	1,846,279,760
元本	1,865,148,650
次期繰越損益金	△ 18,868,890
(D) 受益権総口数	1,865,148,650□
1万口当り基準価額(C／D)	9,899円

* 期首における元本額は1,473,218,698円、当作成期間中における追加設定元本額は1,933,425,154円、同解約元本額は1,541,495,202円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,899円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は18,868,890円です。

■損益の状況

当期 自2024年 3月26日 至2025年 3月24日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	21,206円
受取利息	21,206
(B) 有価証券売買損益	282,311,291
売買益	468,149,991
売買損	△185,838,700
(C) 信託報酬等	△ 8,081,524
(D) 当期損益金(A + B + C)	274,250,973
(E) 前期繰越損益金	△ 34,425,442
(F) 追加信託差損益金	△258,694,421
(配当等相当額)	(8,162)
(売買損益相当額)	(△258,702,583)
(G) 合計(D + E + F)	△ 18,868,890
次期繰越損益金(G)	△ 18,868,890
追加信託差損益金	△258,694,421
(配当等相当額)	(8,162)
(売買損益相当額)	(△258,702,583)
分配準備積立金	239,825,531

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,398円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	239,805,133
(c) 収益調整金	8,162
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	239,833,693
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	239,833,693
(h) 受益権総口数	1,865,148,650口

ATMX+インデックス・マザーファンド

運用報告書 第4期（決算日 2025年3月24日）

（作成対象期間 2024年3月26日～2025年3月24日）

ATMX+インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

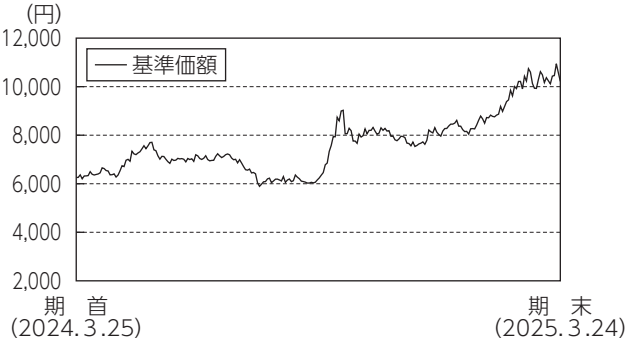
運用方針	投資成果をFactSet ATMX+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行います。
主要投資対象	イ. 香港の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ. 中国（香港を含みます。）の株価指数に連動するETF（上場投資信託証券）およびETN（上場投資証券） ハ. 中国（香港を含みます。）の株価指数先物取引 ニ. FactSet ATMX+指数（配当込み）の2倍の値動きを享受する債券（円建）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰落率 %	ベンチマーク	騰落率 %		
(期首)2024年 3月25日	6,258	-	6,368	-	97.6	2.2
3月末	6,320	1.0	6,433	1.0	97.3	2.2
4月末	6,968	11.3	7,098	11.4	95.4	2.2
5月末	6,910	10.4	7,041	10.6	96.8	2.3
6月末	6,997	11.8	7,137	12.1	97.2	2.2
7月末	6,446	3.0	6,581	3.3	97.7	2.3
8月末	6,125	△ 2.1	6,254	△ 1.8	96.5	2.3
9月末	7,578	21.1	7,746	21.6	97.2	2.4
10月末	8,169	30.5	8,360	31.3	97.1	2.6
11月末	7,536	20.4	7,716	21.2	97.0	2.8
12月末	8,612	37.6	8,830	38.6	97.3	2.7
2025年 1月末	8,758	39.9	8,980	41.0	96.7	2.9
2月末	10,599	69.4	10,902	71.2	90.8	8.9
(期末)2025年 3月24日	10,218	63.3	10,492	64.7	94.9	4.7

- (注1) 騰落率は期首比。
(注2) FactSet ATMX+ 指数 (税引後配当込み、円ベース) は、FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：6,258円 期末：10,218円 騰落率：63.3%

【基準価額の主な変動要因】

主として香港の株式に投資し、ベンチマークへの連動をめざした結果、中国テクノロジー株が上昇し、香港ドル円相場はほぼ横ばいとなったことを受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 中国テクノロジー株式市況

中国テクノロジー株式市況は上昇しました。
中国テクノロジー株式市況は、当作成期首より横ばいで推移しましたが、2024年5月に政府が発表した株価下支え策や建築未完成物件の在庫消化および買替えを促進する政策による不動産市場の回復期待などを背景に、上昇しました。その後は、政策の出尽くし感や、欧米との貿易摩擦の激化等が懸念材料となり反落した後、横ば

いで推移しました。9月下旬以降は、中国政府による一連の景気刺激策や株高政策の発表により、投資家のリスク選好が向上し大幅高となりましたが、不透明な財政支出の規模などに対する警戒感が徐々に高まり、下落しました。10月中旬にはオランダの大手半導体製造装置企業の業績見通し悪化などを受けて半導体株が調整し、下旬は中国全人代常務委員会や米国大統領選挙などの重要イベントを控えてリスク回避姿勢が高まったことなどを背景に下落しました。11月は、米国大統領選挙においてトランプ前大統領が勝利し通商政策を巡る不透明感が高まったことや、中国が保守的な財政政策を発表したことなどから下落しました。12月に入ると、中央政治局会議の内容が好感されて景気刺激策への期待が高まり、上昇しました。2025年1月上旬は、トランプ米国大統領の就任演説を控えてリスク回避の売りが先行したことや、米国政府がA I (人工知能) 向け半導体の輸出規制を強化する計画を打ち出したことなどを背景に下落しましたが、中旬以降は、中国当局による消費財買替え政策の強化が注目されたこと、また台湾でA I向けや中国の需要回復を背景に半導体企業の決算および輸出受注が好感されたことなどから上昇しました。2月には、中国の大手企業が相次いでディープシークとの連携を発表したことや、中国向けiPhoneのA I開発でアリババがアップルと提携することの報道から、A Iの活用に対し期待が高まり、ハイテク関連銘柄が上昇しました。

○ 為替相場

香港ドル円相場はほぼ横ばいとなりました。
香港ドルは米ドルとの通貨レートを一定に保つペッグ制度をとっており、基本的に米ドル円と同様の推移となっております。香港ドル円相場は、当作成期首より、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調は継続しました。10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことなどから日米金利差の拡大が意識され、円安が大きく進行しました。11月に入ると、米国金利の上昇に連れて円安基調となりましたが、月半ばになると、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月には、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月以降も、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したことなどから、円高が進行しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

主として、香港の株式 (D R (預託証券) を含みます。) に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行います。また、効率性の観点から連動債券 (FactSet ATMX+指数 (配当込み) の2倍の値動きを享受する債券 (円建))、E T F (上場投資信託証券)、E T N (上場投資証券)、株価指数先物にも投資を行うことがあります。

◆ ポートフォリオについて

主として、香港の株式に投資し、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。
ポートフォリオ構築にあたっては、ベンチマーク採用銘柄に投資を行いました。また、効率性の観点から株価指数先物取引を利用し、基準価額とベンチマークとの連動性を維持し・向上させるよう運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は64.7%、当ファンドの基準価額の騰落率は63.3%となりました。
株式の売買時に発生する印紙税や売買手数料・保管費用等のコスト

負担が、マイナス要因となりました。
なお、組み入れている株式ポートフォリオとベンチマークとの騰落率の差異、株価指数先物とベンチマークとの騰落率の差異も、かい離要因としてあげられます。
*ベンチマークはFactSet ATMX+指数（税引後配当込み、円ベース）です。

《今後の運用方針》

主として、香港の株式（D R（預託証券）を含みます。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行います。また、効率性の観点から連動債券（FactSet ATMX+指数（配当込み）の2倍の値動きを享受する債券（円建））、E T F（上場投資信託証券）、E T N（上場投資証券）、株価指数先物にも投資を行うことがあります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	8円
(株式)	(8)
(先物・オプション)	(1)
有価証券取引税	15
(株式)	(15)
その他費用	8
(保管費用)	(8)
(その他)	(0)
合計	31

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
株 式

(2024年3月26日から2025年3月24日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
SEMICONDUCTOR MANUFACTURING (ケイマン諸島)		260.5	186,984	717	JD.COM INC - CL A (ケイマン諸島)		47.295	110,922	2,345
XIAOMI CORP-CLASS B (ケイマン諸島)		139.2	119,370	857	TENCENT MUSIC ENTERTAINMENT GROUP (ケイマン諸島)		104.7	94,366	901
LI AUTO CLASS A INC (ケイマン諸島)		51.4	109,265	2,125	MEITUAN-CLASS B (ケイマン諸島)		26.1	87,339	3,346
TENCENT MUSIC ENTERTAINMENT GROUP (ケイマン諸島)		104.7	108,641	1,037	TRIP.COM GROUP LTD (ケイマン諸島)		10.1	85,666	8,481
NETEASE INC (ケイマン諸島)		37.6	106,999	2,845	XIAOMI CORP-CLASS B (ケイマン諸島)		184.8	81,189	439
BYD CO LTD-H (中国)		15.5	93,802	6,051	TENCENT HOLDINGS LTD (ケイマン諸島)		6.5	50,585	7,782
ALIBABA GROUP HOLDING LTD (ケイマン諸島)		41.7	90,357	2,166	ALIBABA GROUP HOLDING LTD (ケイマン諸島)		27.6	48,746	1,766
BAIDU INC-CLASS A (ケイマン諸島)		50.25	88,500	1,761	BYD CO LTD-H (中国)		9	46,781	5,197
TENCENT HOLDINGS LTD (ケイマン諸島)		7.7	70,728	9,185	NETEASE INC (ケイマン諸島)		11.3	31,085	2,750
MEITUAN-CLASS B (ケイマン諸島)		23.1	67,775	2,934	BAIDU INC-CLASS A (ケイマン諸島)		16.65	29,466	1,769

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2024年3月26日から2025年3月24日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国		百株	千香港ドル	百株	千香港ドル
	香港	7,398 (-)	56,865 (-)	4,833.45	35,766

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2024年3月26日から2025年3月24日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国		百万円	百万円	百万円	百万円
	株式先物取引	568	511	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
TRIP.COM GROUP LTD	177	147	7,320	141,067	一般消費・サービス
LI AUTO CLASS A INC	357	723	7,323	141,133	一般消費・サービス
TENCENT HOLDINGS LTD	154	166	8,490	163,619	コミュニケーション・サービス
SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	—	2,360	11,080	213,515	情報技術
BYD CO LTD-H	185	250	9,790	188,653	一般消費・サービス
XIAOMI CORP-CLASS B	3,362	2,906	15,895	306,312	情報技術
MEITUAN-CLASS B	414.7	384.7	6,447	124,244	一般消費・サービス
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	569	710	9,279	178,819	一般消費・サービス
JD.COM INC - CL A	462.45	—	—	—	一般消費・サービス
NETEASE INC	283	546	8,293	159,820	コミュニケーション・サービス
BAIDU INC-CLASS A	428.5	764.5	6,991	134,723	コミュニケーション・サービス
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	6,392.65 10銘柄	8,957.2 10銘柄	90,913 1,751,910 <94.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外国		百万円	百万円
HSTECH FUTURES(香港)		86	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,751,910	94.6
コール・ローン等、その他	99,995	5.4
投資信託財産総額	1,851,905	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月24日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝149.80円、1 香港ドル＝19.27円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（1,782,505千円）の投資信託財産総額（1,851,905千円）に対する比率は、96.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,978,291,640円
コール・ローン等	67,327,418
株式(評価額)	1,751,910,362
未収入金	127,167,904
未収配当金	626,699
差入委託証拠金	31,259,257
(B) 負債	132,370,902
未払金	132,370,902
(C) 純資産総額(A－B)	1,845,920,738
元本	1,806,526,077
次期繰越損益金	39,394,661
(D) 受益権総口数	1,806,526,077口
1万口当り基準価額(C／D)	10,218円

* 期首における元本額は1,438,617,902円、当作成期間中における追加設定元本額は966,400,645円、同解約元本額は598,492,470円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：iFreeNEXT ATMX+ 1,806,526,077円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,218円です。

■損益の状況

当期 自2024年3月26日 至2025年3月24日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	12,423,801円
受取配当金	12,130,799
受取利息	73,332
その他収益金	219,670
(B) 有価証券売買損益	472,238,492
売買益	527,787,442
売買損	△ 55,548,950
(C) 先物取引等損益	9,659,126
取引益	22,423,189
取引損	△ 12,764,063
(D) その他費用	△ 1,120,181
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	493,201,238
(F) 前期繰越損益金	△538,333,457
(G) 解約差損益金	131,733,402
(H) 追加信託差損益金	△ 47,206,522
(I) 合計(E + F + G + H)	39,394,661
次期繰越損益金(I)	39,394,661

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

FactSetは、FactSet ATMX+指数の正確性および、または完全性を保証するものではありません。また、その中に含まれるデータおよびインデックス使用許諾者は、いかなる誤り、欠落または中断について責任を負うものではありません。FactSetは、インデックスの使用許諾者、当ファンドの所有者、または当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの使用に起因する他の人物または組織によって得られる結果について、明示的または黙示的に保証されるものではありません。FactSetは、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの商品性、特定の目的または使用への適合性について、一切の保証を明示的に否認します。これに限定されず、FactSetは、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、特別損害、懲罰的損害、間接的損害または派生的損害（逸失利益を含む）に対する責任を一切負うものではありません。

FACTSET DOES NOT GUARANTEE THE ACCURACY AND/OR THE COMPLETENESS OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN AND LICENSOR SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY ERRORS, OMISSIONS, OR INTERRUPTIONS THEREIN. FACTSET MAKES NO WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, AS TO RESULTS TO BE OBTAINED BY LICENSEE, OWNERS OF THE PRODUCT, OR ANY OTHER PERSON OR ENTITY FROM THE USE OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. FACTSET MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE WITH RESPECT TO THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING, IN NO EVENT SHALL FACTSET HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.